

令和8年 台風第6号に関する台風説明会

令和8年6月1日14時

神戸地方気象台

※本資料は現時点の見通しを示したものですので、今後気象台が発表する最新の防災気象情報に留意してください。

台風第6号の進路と影響のポイント

台風第6号は、1日09時には那覇市の南にあって、1時間におよそ15キロメートルの速さで北へ進む。台風は、2日には進路を次第に東よりに変えて、本州の南岸を進み、**3日未明から明け方にかけて兵庫県に最接近**する見込み。

<風・波>

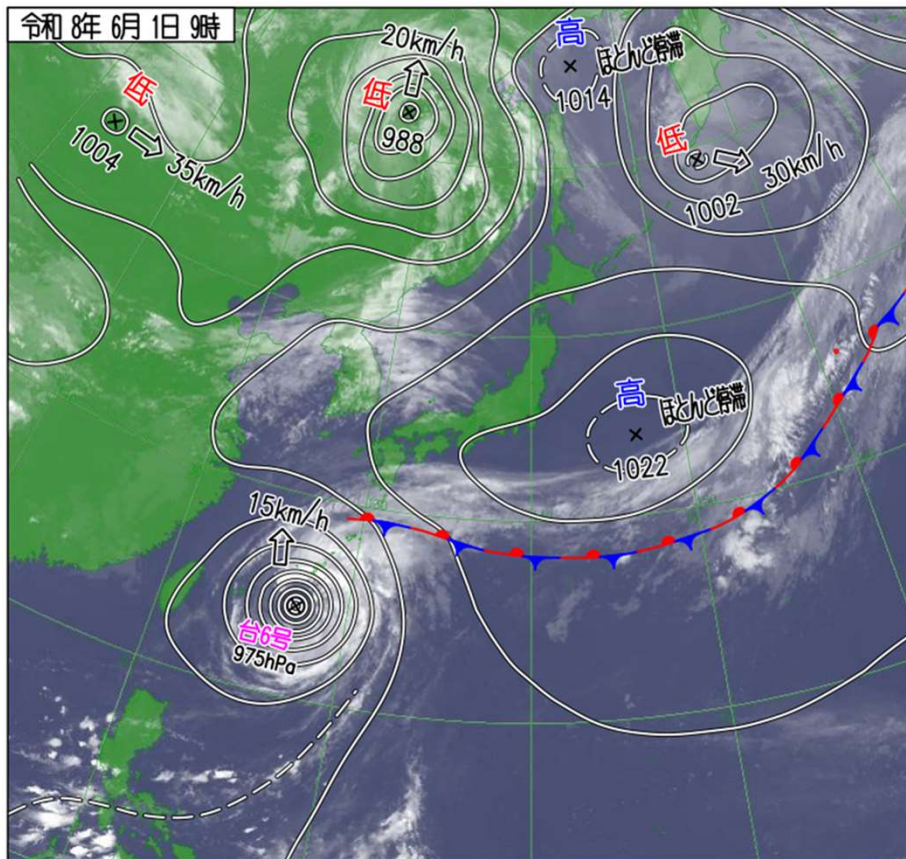
- 兵庫県では、2日夕方からさらに風が強まり、海上では波が高まる。
- **淡路島南部では、3日午前中はうねりを伴った高波に警戒。**
- **南部沿岸部では、2日夜のはじめ頃から3日午前中にかけて、警報級の風や高波となる可能性。**

<雨>

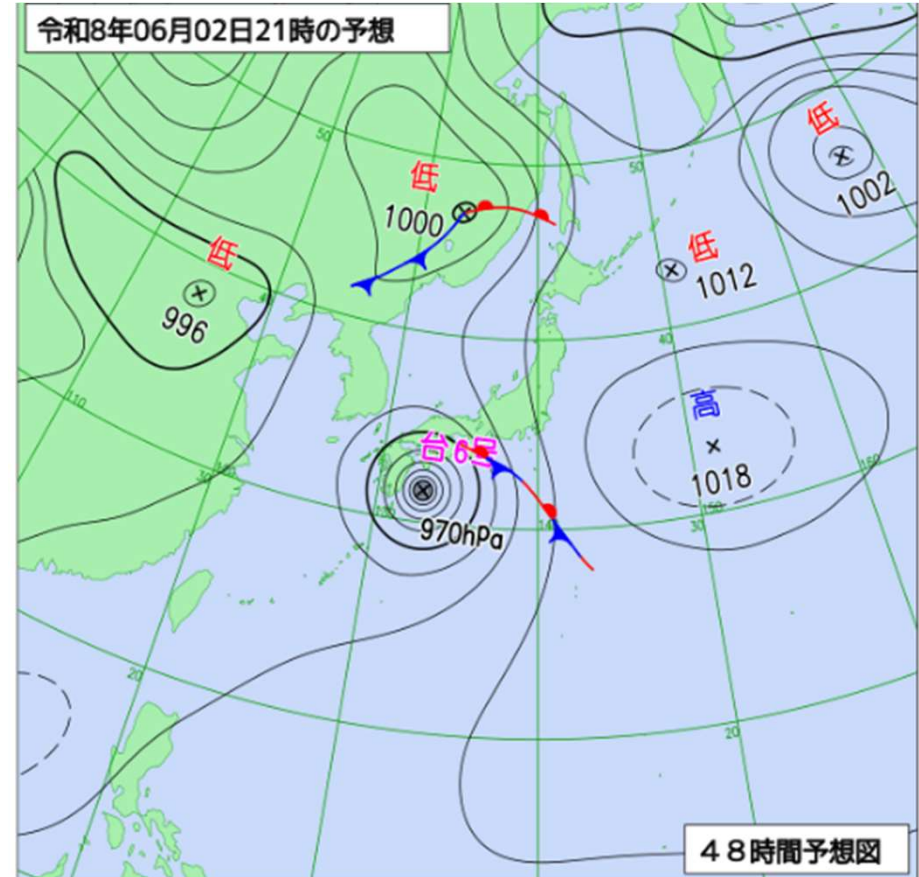
- 兵庫県では、2日から3日にかけて雨が降る。
- **南部では、2日夕方からは激しい雨が降る見込み。台風の進路等によっては、2日夜のはじめ頃から3日午前中にかけて警報級の大雨となる可能性。**

地上天気図と気象衛星赤外画像

令和8年6月1日09時



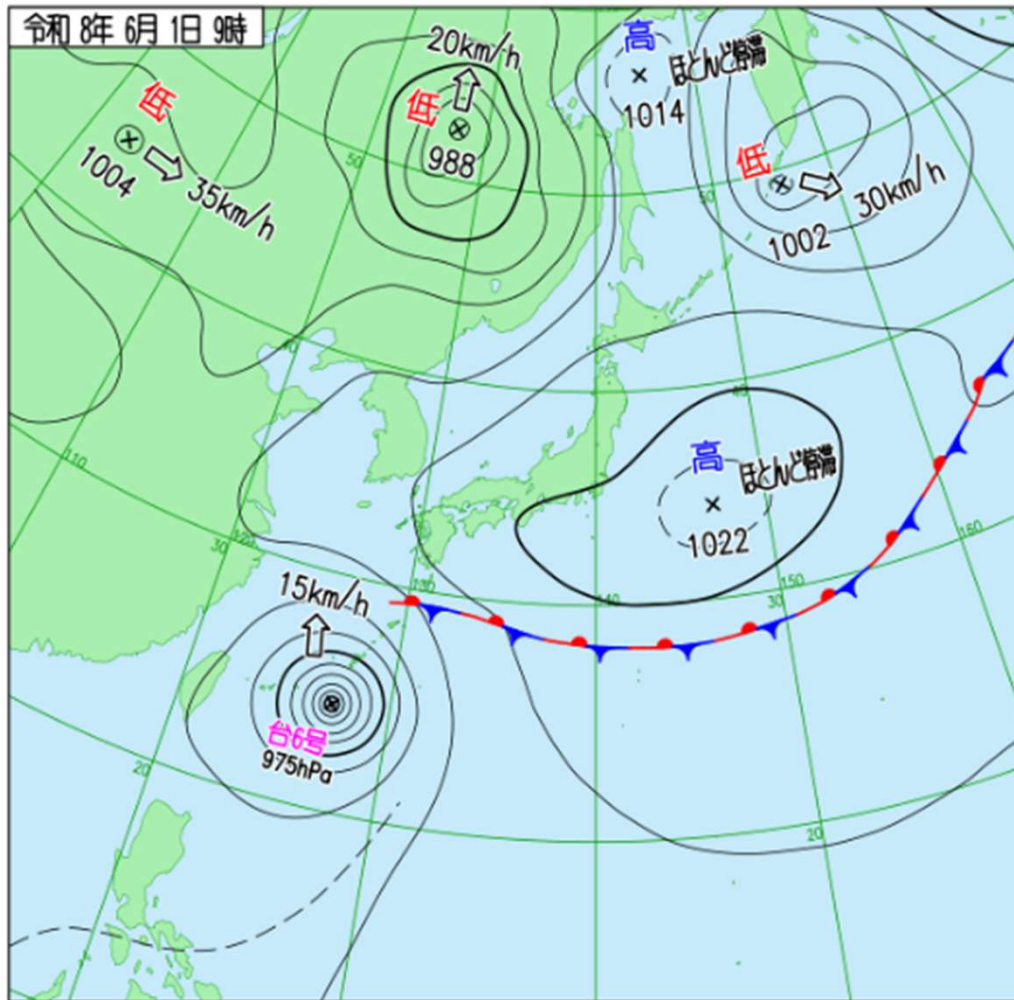
令和8年6月2日21時の予想図



1日09時の観測によると、台風第6号は那覇市の南約210キロメートルにあって、1時間におよそ15キロの速さで北に進んでいます。

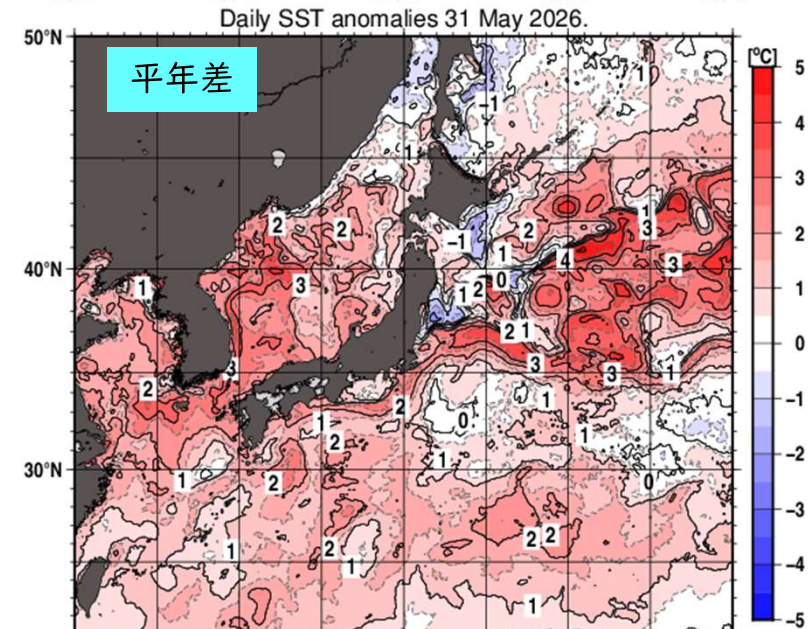
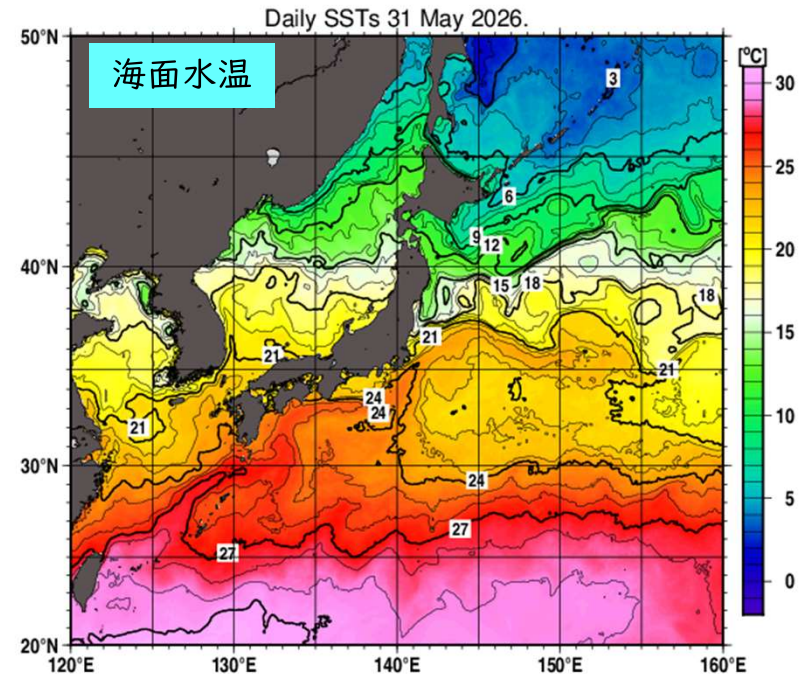
中心の気圧は975ヘクトパスカル、中心付近の最大風速は30メートル、最大瞬間風速は45メートルとなっています。

日本近海の海面水温



1日09時の地上天気図

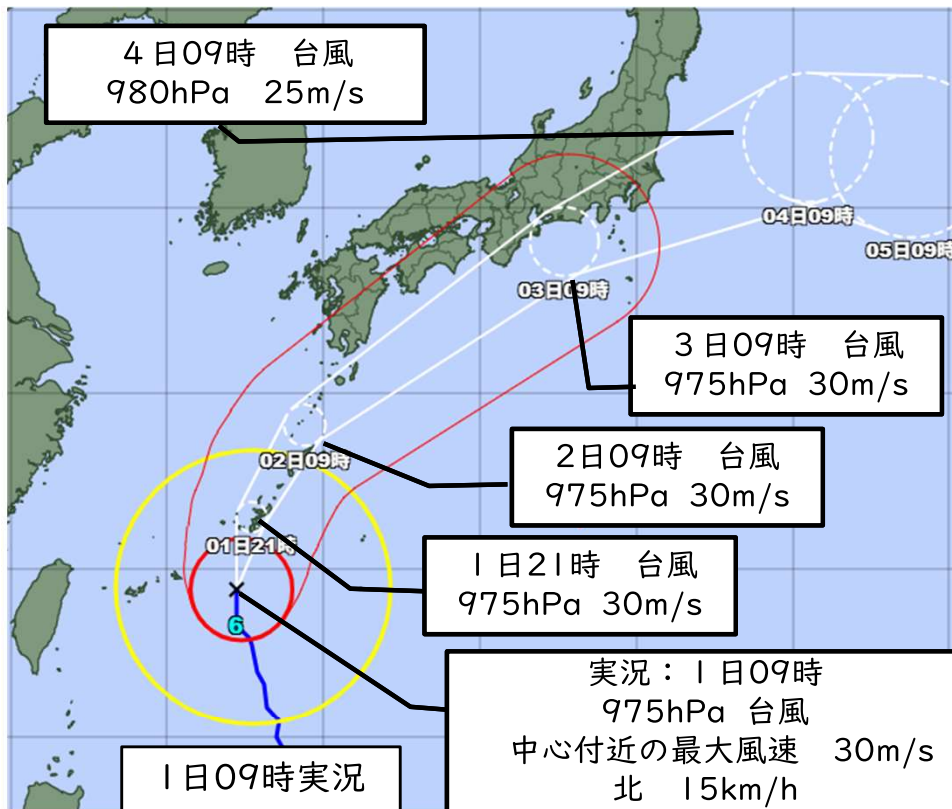
台風第6号の進路上の海面水温は、紀伊半島沖まで25℃前後で、台風は衰弱することなく近畿地方に接近する見込みです。



5月31日の日本近海の海面水温

令和8年台風第6号の進路予想

1日09時現在



01日09時の実況	
種別	台風
大きさ	-
強さ	-
存在地域	那覇市の南約210km
中心位置	北緯24度25分 (24.4度) 東経127度10分 (127.2度)
進行方向、速さ	北 15 km/h (9 kt)
中心気圧	975 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (60 kt)
最大瞬間風速	45 m/s (85 kt)
25m/s以上の暴風域	東側 185 km (100 NM)
	西側 150 km (80 NM)
15m/s以上の強風域	東側 500 km (270 NM)
	西側 390 km (210 NM)



1日21時予報

01日21時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	那覇市の北約30km
予報円の中心	北緯26度30分 (26.5度) 東経127度40分 (127.7度)
進行方向、速さ	北 20 km/h (11 kt)
中心気圧	975 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (60 kt)
最大瞬間風速	45 m/s (85 kt)
予報円の半径	45 km (25 NM)
暴風警戒域	東側 230 km (125 NM)
	西側 190 km (105 NM)

2日09時予報

02日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	奄美市の北約80km
予報円の中心	北緯29度05分 (29.1度) 東経129度25分 (129.4度)
進行方向、速さ	北北東 30 km/h (15 kt)
中心気圧	975 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (60 kt)
最大瞬間風速	45 m/s (85 kt)
予報円の半径	65 km (35 NM)
暴風警戒域	南東側 250 km (135 NM)
	北西側 210 km (115 NM)

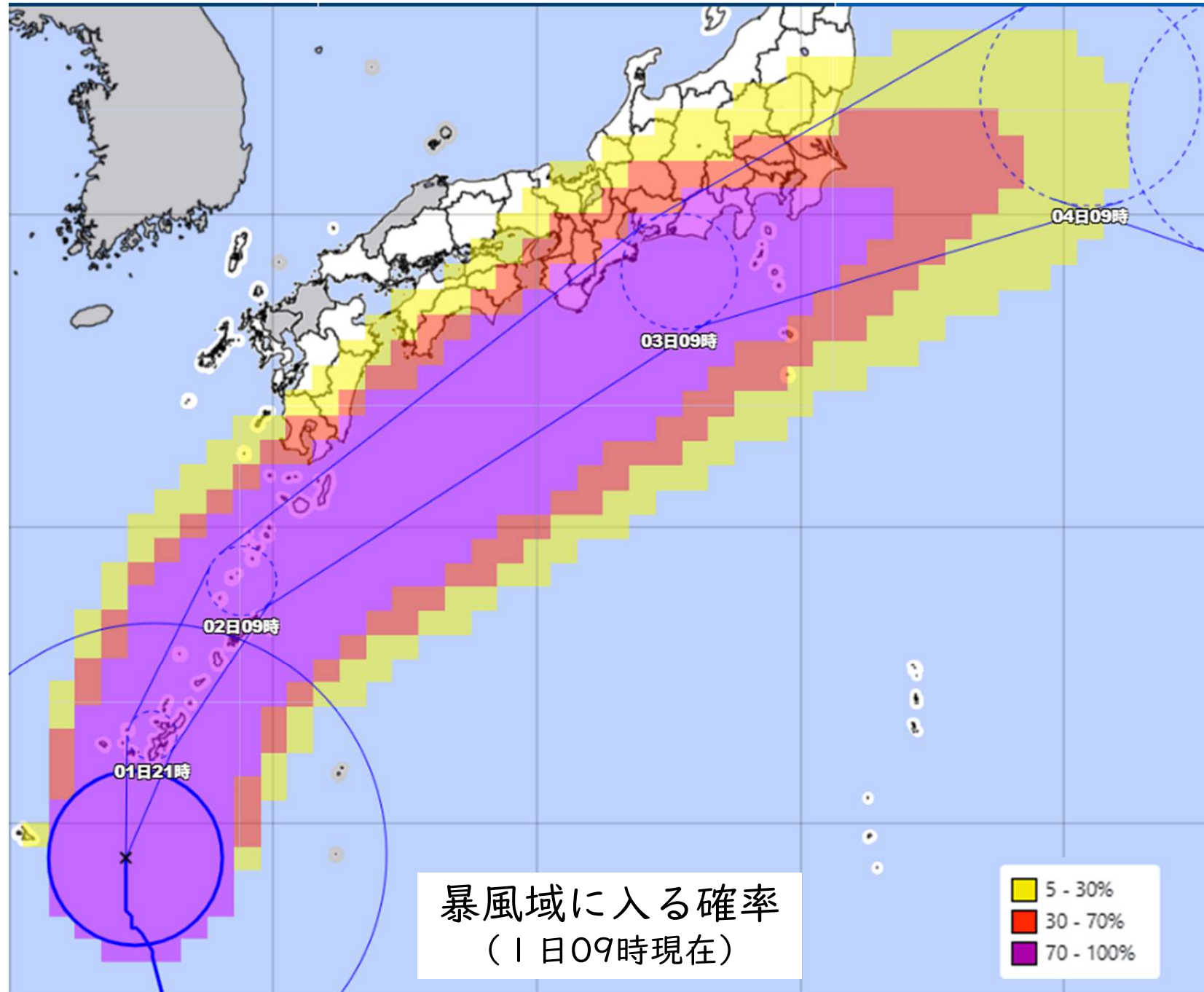
3日09時予報

03日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	浜松市の南約70km
予報円の中心	北緯34度05分 (34.1度) 東経137度40分 (137.7度)
進行方向、速さ	北東 40 km/h (22 kt)
中心気圧	975 hPa
中心付近の最大風速	30 m/s (60 kt)
最大瞬間風速	45 m/s (85 kt)
予報円の半径	100 km (55 NM)
暴風警戒域	南東側 290 km (155 NM)
	北西側 250 km (135 NM)

4日09時予報

04日09時の予報	
種別	台風
強さ	-
存在地域	日本の東
予報円の中心	北緯36度50分 (36.8度) 東経145度30分 (145.5度)
進行方向、速さ	東北東 30 km/h (17 kt)
中心気圧	980 hPa
中心付近の最大風速	25 m/s (50 kt)
最大瞬間風速	35 m/s (70 kt)
予報円の半径	185 km (100 NM)

令和8年台風第6号の暴風域に入る確率 | 日09時現在



早期注意情報 1日09時現在

兵庫県の早期注意情報（警報級の可能性）											
2026年06月01日11時 神戸地方気象台 発表											
南部では、3日昼前までの期間内に、波浪警報を発表する可能性が高い。また、3日昼前までの期間内に、大雨、暴風警報を発表する可能性がある。 北部では、3日までの期間内に【高】及び【中】はない。今後の情報に留意。											
兵庫県南部	1日		2日				3日		4日	5日	6日
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
警報級の可能性											
大雨	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	[中]	[高]	-	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県北部	1日		2日				3日		4日	5日	6日
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
警報級の可能性											
大雨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 【高】 ■ 【中】

最接近等 1日09時現在

◎ 兵庫県における暴風域、強風域、最接近のおおまかな時間
 (1日09時現在の予想で、予報円の中心を通った場合)

	強風域入	暴風域入	暴風域出	強風域出	最接近
北部	2日夜のはじめ頃	—	—	3日昼過ぎ	3日未明から明け方
南部	2日夕方	—	—	3日夕方	3日未明から明け方

(1日09時現在の予想で、予報円の北寄りを通った場合)

	強風域入	暴風域入	暴風域出	強風域出	最接近
北部	2日夕方	—	—	3日昼過ぎ	3日未明から明け方
南部	2日昼過ぎ	2日夜遅く	3日朝	3日夕方	3日未明から明け方

注：予報円の中心を通った場合、暴風域には入らない予想ですが、予報円の北の進路をとった場合は、南部は暴風域に入る可能性があります。南部沿岸部を中心に非常に強い風が吹くおそれがあります。

時系列情報 | 日 | 時現在

兵庫県の時系列情報（明日までの警報等の見通し）

2026年06月01日 | 時00分発表

兵庫県南部	地域	1日				2日								備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
1時間最大雨量 _(mm)		0	0	0	1	10	20	20	20	20	30	40	40	
24時間最大雨量 _(mm)		60				80								
大雨											★			
土砂災害														
強風 _(m/s)	陸上	8	12	12	12	12	12	12	12	12	13	18	18	
	海上	10	15	15	15	15	15	15	15	15	18	23	23	
波浪 _(m)		1	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2	2	2	2.5	3	3	うねり
高潮 潮位 _(m)		0.1	0.5	0.6	0.9	0.9	0.6	0.6	0.3	0.3	0.4	0.7	0.9	
雷					★									
兵庫県北部	地域	1日				2日								備考・関連する現象
		12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
1時間最大雨量 _(mm)		0	0	0	0	10	20	20	20	20	20	15	15	
24時間最大雨量 _(mm)		30				60								
大雨														
土砂災害														
強風 _(m/s)	陸上	6	6	5	5	6	6	6	6	6	★ 8	10	10	
	海上	7	7	8	8	8	8	8	10	10	★ 10	15	15	
波高 _(m)		0.5	0.5	0.5	0.5	1	1	1	1	1.5	1.5	1.5	2	
高潮 潮位 _(m)		0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.2	0.1	
雷					★									

 警報発表の可能性のある時間帯
 注意報発表の可能性のある時間帯

★ 警報を発表するおおよそのタイミング
★ 注意報を発表するおおよそのタイミング

明後日の見通し | 日 | 時現在

			3日			
			0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
台風最接近			最接近			
大雨	北部					
	南部					
土砂災害	北部					
	南部					
雷	北部					
	南部					
強風 (メートル)	北部	陸上	12 ↗	12 ↓	12 ↗	
		海上	15 ↗	15 ↓	15 ↗	
	南部	陸上	18 ↗	18 ↓	12 ↗	
		海上	23 ↗	23 ↓	15 ↗	
波浪 (メートル)	北部					
	南部	淡路島南部を除く	2.5	2.5	1.5	
		淡路島南部	4	4	2.5	1.5
高潮 (メートル)	北部					
	南部	大阪湾				
		播磨灘				
		紀伊水道				

警報級
 注意報級

警報発表の可能性のある時間帯
 注意報発表の可能性のある時間帯

★ 警報を発表するおおよそのタイミング
★ 注意報を発表するおおよそのタイミング

量的予想 1日11時現在

- ・大雨などの注意報や警報は、状況により随時発表します。
- ・量的な予想は最新の警報・注意報・気象情報を利用してください。

24時間降水量予想（多い所）	北部（ミリ）	南部（ミリ）
1日12時～2日12時	30	60
2日12時～3日12時	80	120
3日12時～4日12時	10	10

風の予想		北部（メートル）		南部（メートル）	
		陸上	海上	陸上	海上
2日	最大風速	10	15	18	23
	最大瞬間風速	20	25	30	35
3日	最大風速	12	15	18	23
	最大瞬間風速	25	25	30	35

波の予想	北部（メートル）	南部（メートル）	淡路島南部（メートル）
2日	2メートル	2.5メートル	3メートルうねり伴う
3日	2メートル	2.5メートル	4メートルうねり伴う

関係機関の皆さまへのお願い

気象台では、住民の皆さまに以下の呼びかけを行ないますので、ご協力をお願いします。

台風の接近に備えて

- ◆ 気象台が発表する最新の防災気象情報、キキクルを確認し、市町からの避難に関する情報等に留意してください。
- ◆ 大雨による土砂災害・低い土地の浸水をはじめ、暴風、高波、高潮など、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、明るいうちに安全な場所に移動するなど、雨や風が強まる前に早め早めの安全確保をお願いします。
- ◆ 屋外での作業や不要な外出は控え、海岸や増水した河川・用水路など危険な場所には絶対に近づかないようお願いします。
- ◆ 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。

5段階の警戒レベルと防災気象情報

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

【今後の予想を含めた最新の気象情報は、以下からご利用ください。】

○ 兵庫県の気象警報・注意報

(大雨、河川氾濫、土砂災害、暴風、波浪、高潮、大雪などによる、災害のおそれを警戒・注意を呼びかける)

https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=280000&lang=ja

○ 兵庫県のキキクル (どこで土砂災害、浸水害、洪水害の危険度が高まるととそうされるか地図上で表示)

土砂キキクル

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:9/lat:34.936608/lon:134.928589/colordepth:deep/elements:hazardmap&land>

大雨キキクル

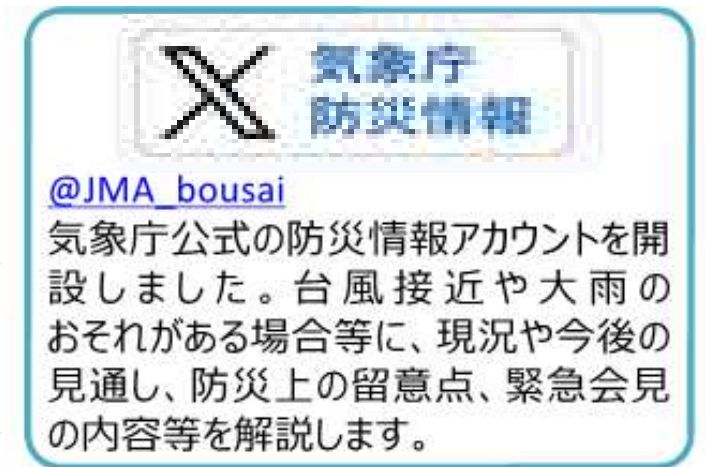
<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:9/lat:34.937734/lon:134.928589/colordepth:deep/elements:heavyrain>

浸水キキクル

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:9/lat:34.936608/lon:134.928589/colordepth:deep/elements:hazardmap&inund>

洪水キキクル

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#zoom:9/lat:34.936608/lon:134.928589/colordepth:deep/elements:hazardmap&flood>



○ 台風情報 (台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>

○ 兵庫県の指定河川洪水予報 (国や県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)

https://www.jma.go.jp/bosai/flood/#area_type=offices&area_code=280000

【今後の予想を含めた最新の気象情報は、以下からご利用ください。】

○ 最新の気象データ

雨雲の動き（降水・雷・竜巻ナウキャスト）

<https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>

今後の雨（降水短時間予報）

<https://www.jma.go.jp/bosai/kaikotan/>

気象衛星ひまわりの画像（雲の動き）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=himawari>

最新の降水量観測データ（アメダス観測値）

https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/pre_rct/index24_rct.html

最新の最大風速観測データ（アメダス観測値）

https://www.data.jma.go.jp/stats/data/mdrr/wind_rct/index_mxwsp.html

兵庫県の潮位観測情報（潮位の観測実況および今後の予測）

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#9/34.952/134.956/&contents=tidelevel>

○ 14か国語による防災気象情報の提供

<https://www.jma.go.jp/jma/kokusai/multi.html>

● 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

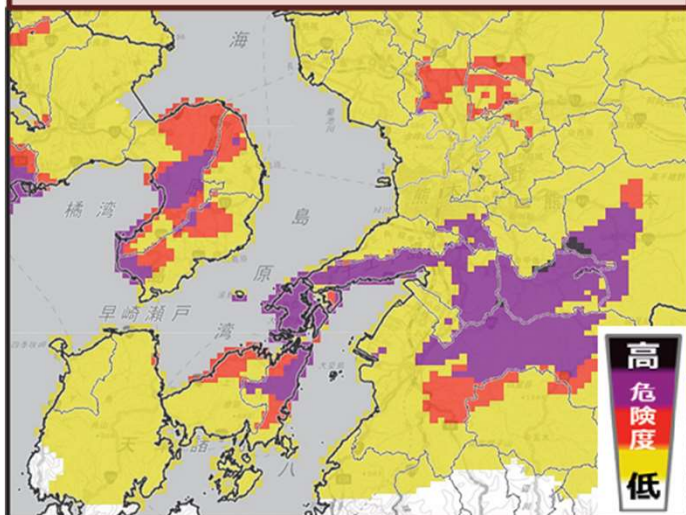
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf

< 参考資料 >

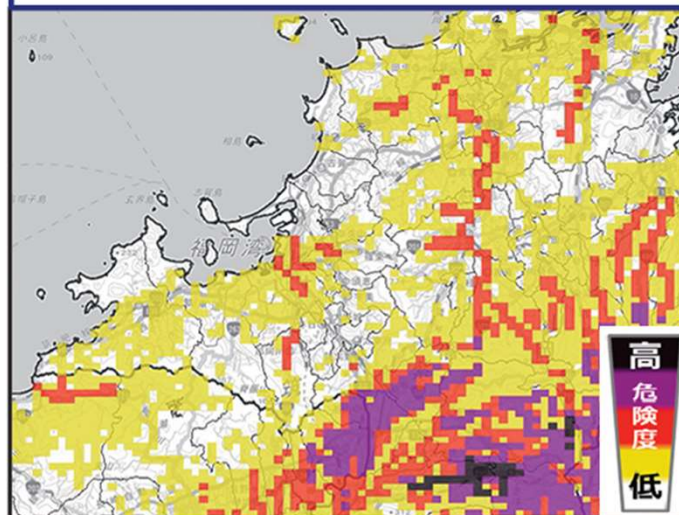
神戸地方気象台

「キキクル」を活用して早めの避難を

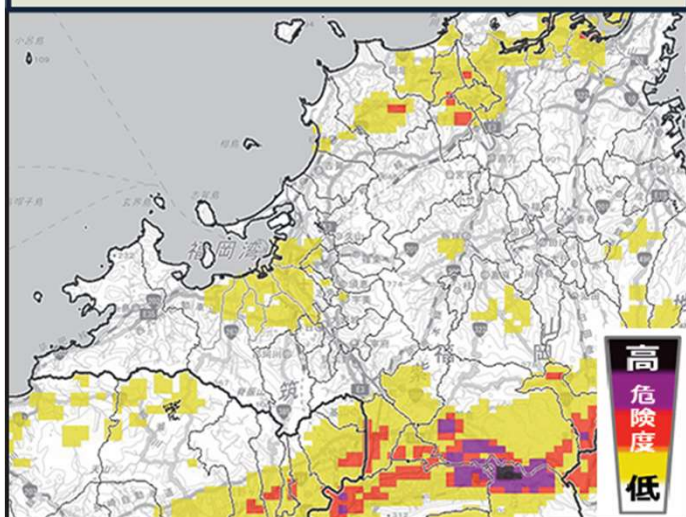
土砂キキクル



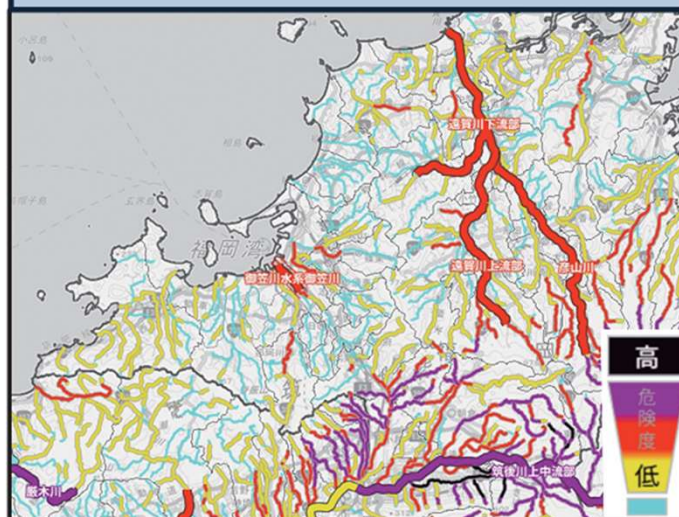
大雨キキクル



浸水キキクル



洪水キキクル



「キキクル」の「災害の切迫(黒)」は、大雨による災害がすでに発生している可能性が高い状況であり、災害が発生する前にいつも出現するとは限りません。このため、「黒」を待つことなく、「紫」が出現した段階で、速やかに安全な場所に避難することが極めて重要です。

キキクルの危険度の高まりを見逃さないように

国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

> ENGLISH > Other Languages 文字サイズ変更 標準 大

> 気象庁 防災情報 気象庁 気象庁 気象庁 YouTube Google 提供 検索

ホーム 防災情報 各種データ・資料 地域の情報 知識・解説 各種申請・ご案内

コンテンツの閲覧方法について(よくお寄せいただくご質問)







[防災情報 >](#)
[天気 >](#)
[キキクル >](#)
[大雨・台風 >](#)
[地震・火山 >](#)

ここをクリック



スマホ版は
ここをクリック



国土交通省 気象庁 Japan Meteorological Agency

コンテンツの閲覧方法について(よくお寄せいただくご質問)

- 
[防災情報 >](#)
- 
[天気 >](#)
- 
[キキクル >](#)
- 
[大雨・台風 >](#)
- 
[地震・火山 >](#)

風の強さと吹き方

(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成19年4月一部改正)、(平成25年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	～50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩みにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	～70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	～90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始め る。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	～110km					固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30以上 35未満	～125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	50
	35以上 40未満	～140km					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	
	40以上	140km～						

(注1) 強風によって災害が起こるおそれのあるときは強風注意報を、暴風によって重大な災害が発生するおそれのあるときは暴風警報を、さらに重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは暴風特別警報を発表して警戒や注意を呼びかけます。なお、警報や注意報の基準は地域によって異なります。

(注2) 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。風の吹き方は絶えず強弱の変動があり、瞬間風速は平均風速の1.5倍程度になることが多いですが、大気の状態が不安定な場合等は3倍以上になることがあります。

(注3) この表を使用される際は、以下の点にご注意下さい。

1. 風速は地形や周りの建物などに影響されますので、その場所での風速は近くにある観測所の値と大きく異なることがあります。
2. 風速が同じであっても、対象となる建物、構造物の状態や風の吹き方によって被害が異なる場合があります。この表では、ある風速が観測された際に、通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。
3. 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。今後、表現など実状と合わなくなった場合には内容を変更することがあります。

雨の強さと降り方

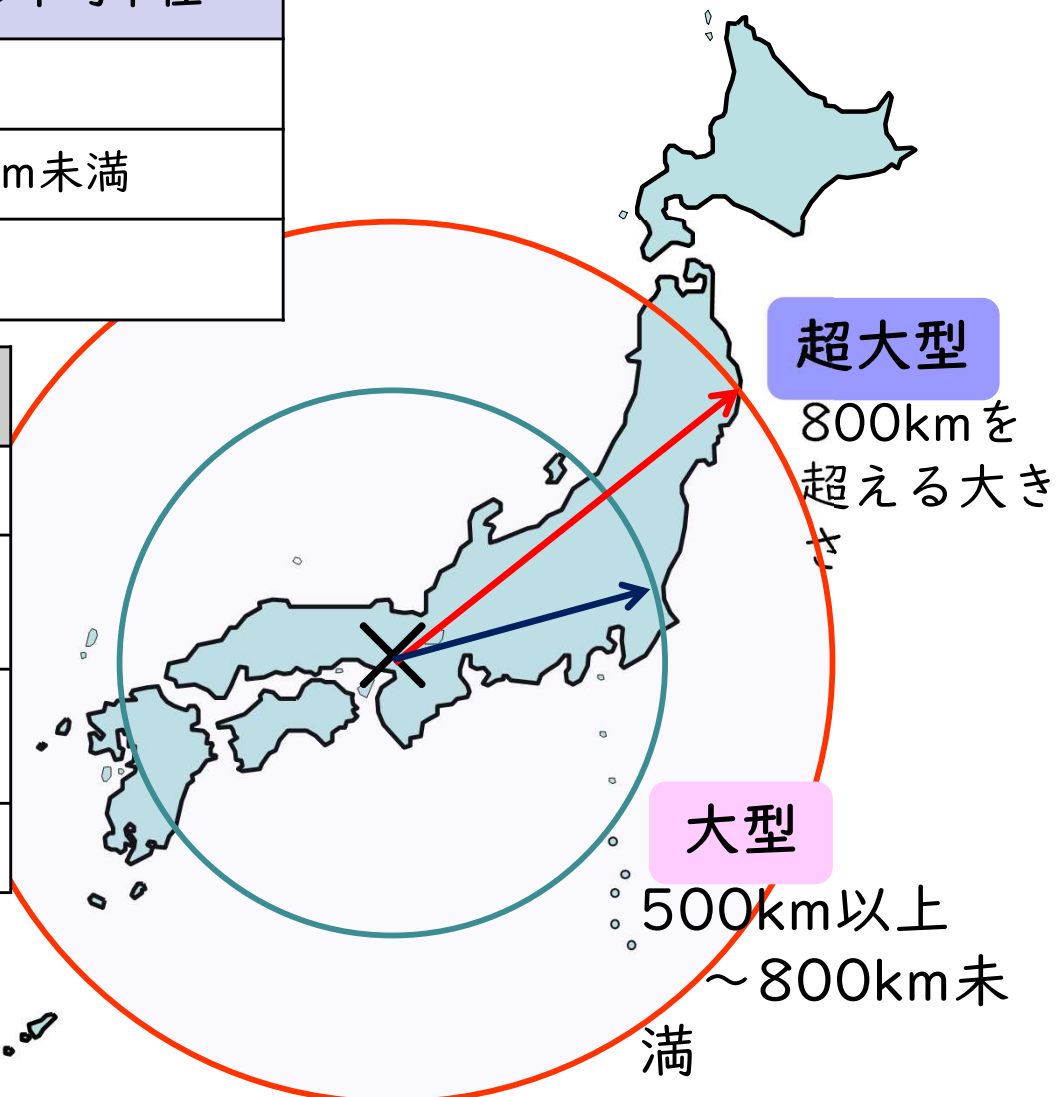
(平成12年8月作成)、(平成14年1月一部改正)、(平成29年3月一部改正)、(平成29年9月一部改正)

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上～ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	雨の音で話し声が良く聞き取れない	地面一面に水たまりができる	
20以上～ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上～ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	傘をさしていてもぬれる	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく	道路が川のようになる	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)
50以上～ 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感ずる				

台風の大きさと強さの定義

大きさ	風速15m/s以上の平均半径
(表現しない)	500km未満
大型 (大きい)	500km以上800km未満
超大型 (非常に大きい)	800km以上

強さ	最大風速 (10分間平均)
(表現しない)	33m/s(64ノット)未満
強い	33m/s(64ノット)以上 44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上 54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上



超大型
800kmを
超える大き
さ

大型
500km以上
~800km未
満

台風の勢力 = 中心の
気圧ではない

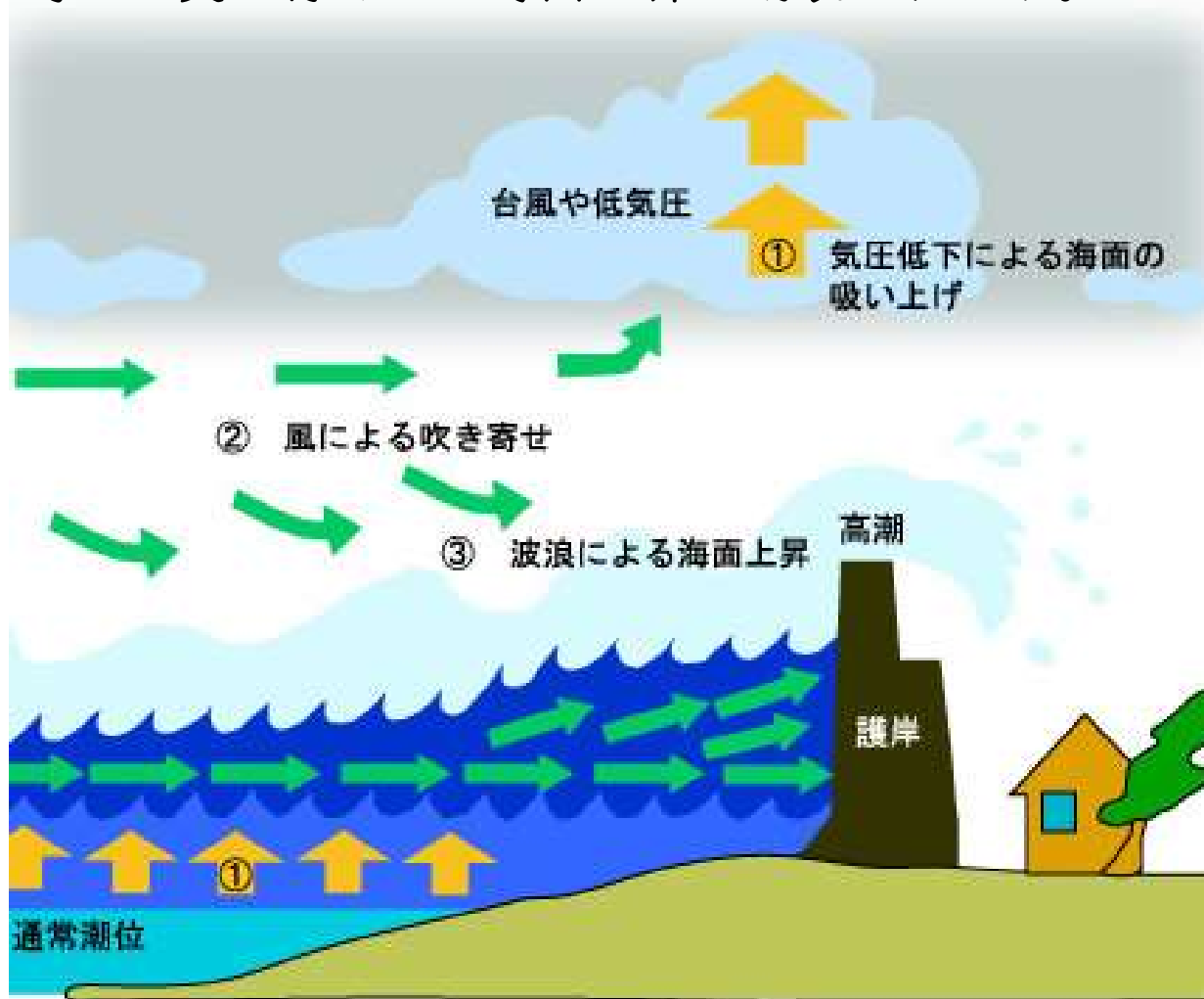
高潮の要因

台風により、

- ①気圧低下による海面の上昇（気圧が1hPa下がると、潮位は約1cm上昇）
- ②風による吹き寄せ
- ③波浪による海面の上昇

の相乗効果により高潮の可能性が高くなります。

特に台風の進行方向の右側では風も強くなり、海面の上昇が起きやすく、またV字型の湾では奥に行くほど海面上昇が助長されます。



防災気象情報に用いる 時間細分の用語

天気予報では、1日を3時間ごとに区切って、表現しています。

時間帯	一日の時間細分		
00:00～03:00	未明	午前中	
03:00～06:00	明け方		
06:00～09:00	朝		
09:00～12:00	昼前	午後	日中
12:00～15:00	昼過ぎ		
15:00～18:00	夕方		
18:00～21:00	夜のはじめ頃	夜	
21:00～24:00	夜遅く		

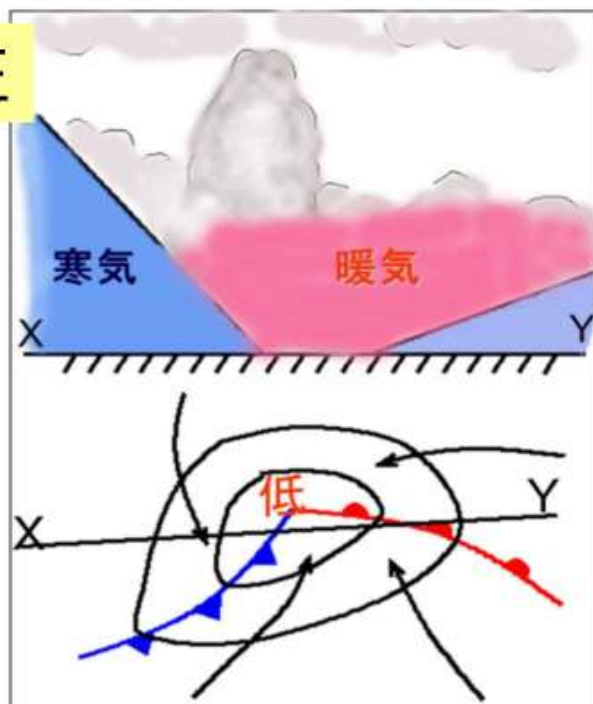
台風と熱帯低気圧との違い

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速（10分間平均）がおよそ17m/s（34ノット、風力8）以上のものを「台風」と呼びます。

温帯低気圧と熱帯低気圧の違い

温帯低気圧

寒気・暖気の温度差をエネルギーに発生・発達



X-Yの線で切った断面図

上から見た図

熱帯低気圧

熱帯の大量の暖かく湿った空気をエネルギーに発生・発達



満潮時刻

